NEXT きらめき

☆WRO（ワールド・ロボット・オリンピアード）2026プエルトリコ国際大会　出場



八幡浜工業高等学校　３年

帽子　大輝（だいき）さん（左）新谷中出身

矢野　琥鉄（こてつ）さん（右）

ロボットの製作やプログラミング技術などを競う「WRO2026 Japan決勝大会」で２位に輝き、12月にプエルトリコで開催される国際大会への出場を決めた帽子さんと矢野さん。２人が本格的にロボット競技を始めたのは、高校１年生の１月。2024年の国際大会で世界一に輝いた兄の姿を見て、自分も挑戦したいと思っていた帽子さんが、「一緒にやるなら彼」と、ものづくりが得意な矢野さんを誘ったことがきっかけでした。

帽子さんがプログラミング、矢野さんがロボット製作を担当。互いの強みを生かしながら技術を磨いてきました。昨年の全国大会では４位と、あと一歩のところで世界大会を逃す悔しさを経験。帽子さんは「その悔しさをばねに１年間取り組んできた。努力が報われうれしかった」と、出場が決まったときの気持ちを話してくれました。

互いについて、帽子さんは「３Ｄプリンターを独学で習得した努力がすごい」、矢野さんは「何事にも真面目で、最後までやり遂げる力がある」と話し、厚い信頼を寄せます。現在は世界大会に向け、ロボットの安定性や動作精度を高めるため、最終調整に奮闘中。「練習の成果を出し切りたい」と意気込みを語る２人に目標を尋ねると、「世界一を目指したい！」と力強く答えてくれました。

HighSchool NOW　Vol.117 長浜高等学校

～市内５校の高校生によるリレーエッセイ～

長浜高校吹奏楽部部長の水元美桜（みお）です。私は、先輩方の仲良く楽しそうに演奏する姿がきっかけで、高校から吹奏楽を始めました。楽器は未経験で不安でしたが、新しいことに挑戦したいと思い、３年間取り組んできました。長高吹奏楽部は、現在７人で活動しています。少人数だからこそ、一人ひとりが責任を持って音楽をつくる必要があるため、部長として積極的に練習に取り組み、仲間と声を掛け合いながら、部員同士の絆を大切にして日々の練習に励んでいます。



また、長高吹奏楽部は、愛媛県から「魅Can（みきゃん）部」の指定を受けています。水族館部の活動を音楽の力で支えながら、私たちの演奏と活動を通して学校の魅力を発信することを目標に、さまざまなイベントに参加しています。

これからも音楽を通して多くのみなさんに笑顔を届けられるよう活動していきます。12月には定期演奏会も開催しますので、ぜひ私たちの演奏を聴きに来てください。



―次回は帝京第五高等学校からです―